

小平学・まちづくり研究所第二回シンポジウム

人生の最終段階をどう迎えますか

— 小平市の在宅看取り現場から考える —

2018年 2月17日(土)

13:30~16:30 会場：小平市福社会館



山崎 章郎



鈴木 道明



新田 國夫



山路 憲夫

■ シンポジスト

山崎章郎：ケアタウン小平クリニック院長

鈴木道明：小平すずきクリニック院長

肉親を在宅で看取った家族2人（小平市在住）

新田國夫：全国在宅療養支援診療所連絡会会長

■ コーディネーター

山路憲夫：白梅学園大学小平学・まちづくり研究所所長

さしあたっての高齢化のピークとなる2025年に向け、病院の病床も削減、施設建設も抑制され、否応なく自宅で最期を迎えるケースが増えていくと予想されています。在宅で看取るといっても多くの市民にとってはほとんど経験のないことであり、不安も強いと思われます。

安心して自宅で最期を迎えるためには、どうすればいいのでしょうか。小平市で先駆的にガン患者などの在宅医療、在宅看取りに取り組んでこられた山崎章郎医師と鈴木道明医師、全国的に在宅医療のリーダーの一人として知られる国立市の新田國夫医師、および自宅で家族を看取った経験をされた方々をお招きして、在宅医療、在宅看取りについてお話しいただき、自宅での看取りのあり方について皆で考えたいと思います。

是非皆さまお誘いあわせの上ご来場ください。

主 催：白梅学園大学 小平学・まちづくり研究所

後 援：小平市

協 力：小平西地区まちづくり市民ネットワーク

参加費：当日先着順受付 無料

助 成：公益財団法人 住宅医療助成 勇美記念財団

問合せ先：TEL：042-313-2799 FAX：042-346-5652

E-mail kodairagaku@shiraume.ac.jp